



「たかいし」ってどんなまち？



自分が暮らす「まち」のことを考えることって実はあまりなかったりしませんか？

今回、私たちが暮らすまち「高石」の魅力を日々発信している市の職員の方と一緒にイベントを開催することになりました。

参加者も一緒に気軽に話をしながら、自分が知っている高石のことや今までは知らなかった高石の魅力をあらためて感じるイベントにできればと考えています。

イベントに参加予定の高石市総合政策課の鮫島さんに、普段どのように市の魅力を発信しているのか聞いてみました。

「総合政策課」では普段どんな仕事をしていますか？

私たちの課は、シティプロモーションが主な業務で、地域の魅力発掘や情報発信を通じてまちの活性化に取り組んでいます。中でも、観光資源である工場夜景や、初夏に行われるシーサイドフェスティバルに関しては、郷土愛を深め、地元を誇りをもてる市だと感じていただけるよう、重点的に活動しています。また、対外的にも魅力的な街をアピールするため、高石市外でのイベントに出て高石商工会議所のキャラクター『てんにょん』と一緒に市のPRを行っています。その他、公式SNS(Instagram/Facebook)や、YouTubeでもまちの情報を発信しています。皆様からのフォロー、チャンネル登録をお待ちしております！



総合政策課はふるさと納税の担当課でもあり、少しでも多くのご寄附をいただけるよう、謝礼品の発掘・開発に力を入れています。高石市の特産品といえば、カステラやお茶がすぐに思い浮かぶかもしれませんが、実は約200品近くの様々な商品がラインナップされています。この機会にご覧になってみてください。素敵なお品に出会えるかも、...

今回のイベントで楽しみなことはありますか？

今回のイベントでは、皆様から見た今の『たかいし』をお聞かせいただけることを楽しみにしております。職員だけでは見つけられなかった新しい視点からの『たかいし』がまだまだあるかと思えます。家の近くの癒される場所を紹介してくれる方。むかしの高石を知る方。いろんな『たかいし』に出会えることで新たな地域活性化に繋がることを期待しております。

わたしのたかいし むかしのたかいし

日時：令和6年2月12日(月祝)午後2時～3時半

場所：高石市立図書館 視聴覚室(アプラたかいし4F)

申込：1月27日(土)午前10時～本館電話またはカウンターで受付

定員：15名(対象・中学生以上)

くわしくは館内のポスター・チラシまたはホームページをご覧ください。



昨年は、地元・羽衣国際大学の学生さんと連携して観光マップを作成したり、最近ではフォトコンテストを実施しました。高石の宝石をテーマにした魅力がぎゅっとつまった応募作品ばかりで、上位12作品を2024年のカレンダーに採用させていただきましたので、ぜひ総合政策課の窓口でお買い求めください。

関連書籍



『「つくる生活」がおもしろい』牧野 篤/著
さくら舎(361.7 マ)

『地元を再発見する!手書き地図のつくり方』

手書き地図推進 委員会/編著 学芸出版社 (379 ジ)

『超入門!ニッポンのまちのしくみ』福川 裕一/監修 淡交社 (518.8 チ)



『おっさんたちの黄昏商店街』池永 陽/著 潮出版社 (913 イ)

『カフェ、はじめます』岸本 葉子/著 中央公論新社(913 キ)

『ししゃも』仙川 環/著 祥伝社(913 セ)

『サンセット・サンライズ』榎 周平/著 講談社(913.6 ニ)

『高石市総合防災マップ』『高石市のあゆみ』など高石市に関する資料は郷土資料コーナーにあります

図書館スタッフおすすめのこの1冊！



『凡人のための地域再生入門』 木下 齊/著 ダイヤモンド社

日本の社会起業家であり、まちづくり専門家である木下 齊さんによる著書。まちづくりのノウハウを小説の形で紹介しているため、とても読みやすくわかりやすい。

自分の地元が寂れ商店街がシャッター街と化すのは悲しいものがある。一方、地方でも若者たちが集まり活性化している地域もある。そんな地域にはきっと目玉となる何か、または特別な人物がいるのだろうと諦めている人がほとんどだ。著者は必ずどの地域にも魅力があり、凡人ほど地域の再生ができることを主張している。

この本の主人公である瀬戸もそんな凡人の一人だ。たまたま親が亡くなり整理のために帰ってきた地元での出会いから地域再生が始まる。失敗し、挫折する中でいろいろなものを身につけて成長していく。木下さんの経験が組み込まれていて、大切にすべき事や陥りやすい罠などがわかりやすい。多くの地域で行われている地方再生の在り方に一石を投じる著書。ぜひ、読んでいただきたい。



スタッフが選んだおすすめ電子書籍



『東大ナゾレ東京大学謎解き制作集団AnotherVisionからの挑戦状 第1巻』
電車で謎解き！なかなかむずかしいのでみんなに挑戦してほしい。2巻もあります。

『アラサー会員の乳がんの備忘録』

若くして乳がんを患った著者の、がんに気づくまで、検査、そして手術、さらには周囲の人間関係の変化など、がんにかかった人の生の声にひきこまれます。

『うえへまいりまあす (うごくえほんチルビー)』

孫と一緒に観ました。表情や動きも可愛くて3才の孫もニコニコ集中。お医者さんの待ち時間などに映像だけでも楽しめますよ。

『奈良こだわりのカフェ&お店案内』

ガイドブックこそ、持ち歩きに便利な電子書籍を。京都ほどには観光客のいない、古都奈良で自分好みのお店をみつけて、ゆっくりお茶でもしてみては。

『あしたのことば』

直木賞作家、森絵都の「ことば」をテーマにした短編集です。9人の人気イラストレーターとのコラボも必見！主人公は子どもたちですが、大人にもおすすめ！

ほかにも、画面を見ながらできるマッサージの本などがオススメに上がっていました！電車の中で短い時間でも楽しめる短編やコミックエッセイ、電子書籍ならではの動く絵本やガイドブックなども人気でした。電子書籍を選ぶときの参考にしてみてくださいね♪

電子書籍ってどういうものなの？

電子書籍(コンテンツ)とは・・・パソコン、スマホ、タブレットなど、デジタル機器の画面で読める「デジタル専用の書籍」です。

24時間いつでも、どこでも読むことができるのが魅力。自動返却機能もあるのでうっかり返し忘れることがないのもうれしいポイントです♪電子書籍だけで購入している本もあるので、図書館の棚にある本とはまた違った本が楽しめます。

また、目の不自由な方や、画面で文字を読むと疲れる、といった方にも使いやすい音声読み上げ付きのコンテンツもあります。

高石市広報「きらり」や高石防災マップはログインなしで読むこともできますよ☆

ぜひ、これを機会にお気に入り登録をお願いします！

※高石市内在住/在勤・在学の方のみ利用可能

ログイン方法や使い方に困った場合は、サイト右上の「ご利用ガイド」または図書館スタッフまでお声かけください。

いつでも どこでも

Takaishi Digital library



作家紹介 夏目漱石

『こゝろ』『坊っちゃん』『吾輩は猫である』など、数々の名作を世に残した夏目漱石。一度はどこかで読んだことや、見たことがあるのではないのでしょうか？

漱石は作家としてのイメージが強いですが教師、評論家、英文学者、俳人…など様々なジャンルで活躍していました。数々の名作を執筆し紙幣の肖像になるなど素晴らしい功績を残していますが、幼いころから境遇に恵まれず神経衰弱であったとされています。小説を執筆するきっかけになったのも神経衰弱の治療の一環として創作を勧められたからで、その際に処女作となる『吾輩は猫である』を執筆しています。この頃から作家として生きていくことを熱望し、その後『倫敦塔』『坊っちゃん』と立て続けに作品を発表、人気作家となります。また、作品には数々の造語が使われており、現在では一般用語とされている「浪漫」や「沢山」は漱石が最初に使ったものだそうです。漱石にとって作家活動は神経衰弱の中で見た光であり、精神的支えだったのかもしれません。

～健康コラム⑩～

“風邪って何なん？”

マスクやうがい、手洗いをしているのに、毎年風邪をひいてしまう人っていますよね。風邪の原因は「自分自身」にもあるって知っていましたか？ウイルスや細菌が原因と知っている人がたくさんいるかもしれませんが、感染しても発病するかしないかは本人次第。ウイルスや常に身の回りにいる常在菌に負けないためには、感染しても発病しない免疫力を維持することが重要なんです。また、風邪をひくきっかけは冷えや食べ過ぎ、疲れやストレスなど体調を狂わせるような行動にあることも多いといわれています。注意しても風邪をひいてしまった場合は、「消化のよい食事」と「体」、特に免疫の中核でありエネルギーの生産場所でもある「おなか」を温めるようにしましょう。

『風邪って何なん？』久保 裕/著
出版:パレード/星雲社(発売)



図書館ライフをもっと快適に♪

その4 図書館ホームページから本を延長する

貸出期間中、1度だけ返却日が延長できます。

① ホームページの「マイページログイン」を押す

② 貸出券番号とパスワードを入れて、[ログインする]を押す

③ 利用照会メニューから貸出中一覧を選ぶ

④ 延長したい本の右の「貸出延長」ボタンを押す

Takaishi City Library 高石市立図書館



返却日が過ぎてるときや本に予約が入っているときなど、延長ボタンが表示されていない本は延長できません。返却日が過ぎるまでに確認してくださいね！

※返却日はボタンを押した日から3週間後です

〈発行〉高石市立図書館 指定管理者 株式会社図書館流通センター
●高石市立図書館(本館)
〒592-0014 高石市綾園1丁目9番1号(アブラたかいし4階)
TEL 072-263-3100

●高石市立図書館(分館)
〒592-0013 高石市取石3丁目9番8号(とろしプラザ1階)
TEL 072-273-3160